

平成26年度第3回教育・保育施設提供体制等検討部会での主な意見

1 子ども・子育て支援新制度における保育の必要性の認定に関する基準について

項目	委員	意見
就労時間	松尾委員	事業計画が5年間なので、5年で48時間にすればいいのかなと思う。

2 子ども・子育て支援新制度に係る基準を定める条例の骨子案について

項目	委員	意見
職員	梶原委員	家庭的保育事業等の保育者については、しっかり研修をしていただけないかなと思う。
	米川委員	家庭的保育事業等の保育者については、実務経験を問うなどどういう付加価値を付けるかということを検討する必要があると思う。
	松尾委員	経験則というのがあるので、資格があるから質の高い保育をするというのは若干疑問があるが、保育の質を高めるために加重を設けるとするのは非常に評価できる。
	松尾委員	保育士が確保できるか心配である。
設備	米川委員	幼稚園から幼保連携認定こども園へ移行する場合の保育室・遊戯室について、1人につき1.98㎡以上とすると、非常に混乱すると思う。
その他	米川委員	給付額と利用者負担額について審議会の中で説明してほしい。
	米川委員	新制度の広報を具体的にしてほしい。 幼稚園の来年度の願書配布を9月16日に予定しているので、広報は、これに間に合えばありがたい。